

庁議の概要

開催日時：令和 8 年 9 月 9 日（水）

◎項目

- 1 国の令和 9 年度予算の概算要求に対する政策提言反映状況【東京事務所】
- 2 今週の動き【各部局等】

◎内容

1 国の令和 9 年度予算の概算要求に対する政策提言反映状況

○総合企画部長

令和 9 年度の政府予算概算要求基準として、通常歳出とは別枠で『「強く豊かな日本」投資枠』が創設された。また、補正予算依存から脱却し恒常的な施策を当初予算に計上することが、今回の大きなポイントになっている。

そうした中、令和 9 年度一般会計の要求総額は 143 兆円余りプラス事項要求となっている。これは、令和 8 年度の当初予算要求総額と令和 7 年度の補正予算を合わせた 140.6 兆円と比べて 2.5 兆円程度の増額プラス事項要求という規模。

主な歳出増加は約 22 兆円でそのうち新たな投資枠が約 12.2 兆円。主な歳入減少は消費税減税などで約 5 兆円。また、恒久財源が未確定のものも少なからずあるという状況。

本県からの主な政策提言に対する反映状況について、「地域未来戦略の推進」として 2,163 億円プラス事項要求、「地域未来交付金等」として 2,000 億円プラス事項要求と、いずれも増額要求がなされている。新たなところでは、「地域未来推進費」の事項要求の中で、地域産業創生や若者雇用創出、また、その駆動力となる地方大学づくりを支援する、「地方大学・地域産業創生交付金」75 億円が要求されているほか、「フードテックの推進」として 502 億円が要求されている。

事項要求など現時点では詳細な内容が明らかでないものもあるため、各部局においては、引き続き東京事務所と連携しながら情報収集に努めていただき、必要に応じて政策提言の検討もお願いしたい。

○知事

高市総理から、令和9年度はこれまで補正予算で措置していた予算も必要なものは当初予算に計上する方針へと転換する方針が示されたほか、複数年度の投資枠も新設され、予算編成の在り方が従前と比べて大きく変わってきている。

今回の概算要求をよく分析し、例年の補正予算も含めた実質ベースの比較を通じて、各省庁の動向について綿密な情報収集をしてもらいたい。

2 今週の動き

資料に基づき、各部局等から説明があった。

知事

9月議会に向けて補正予算議案関係の準備が佳境だと思う。9月議会は年度の折り返し地点にあたるので、総合的に執行状況を見て、時間もかけて質疑が行われる。各部局で提出を予定している議案はもちろんのこと、常日頃の課題となっている事項についての進捗状況などについて、改めて部局長を中心に確認していただき、万全の準備をお願いします。